

カトリック

# 広島教区報

No. 67

カトリック  
広島司教区

発行責任者  
編集者  
澤野耕司神父

広島市中区鞆町 4-42  
広島司教区館内  
TEL (082) 221-6017

## 2007年 教区年間テーマ

# 『平和の使徒となろう』

— 殉教者を想い、  
自分の信仰を生きる —

## 殉教者の列福と

## 『正義と平和』全国集会の年

二〇〇六年十二月の教区宣教科牧評議会で、二〇〇七年の教区年間テーマが話し合われ、『平和の使徒となろう』が決定された。これは、五年後、十年後の広島教区を見据えた教区の基本方針として出された昨年の司教宣言のテーマであり、少なくともここ数年はこれに取り組みべきものとされた。また副題（サブテーマ）として「殉教者を想い、自分の信仰を生きる」が付けられたが、これは今年中に殉教者の列福がなされ、広島で『正義と平和』全国集会が開かれることを意識したものの。



## クリスマスと

## 新年にあたって

広島司教区長

三末篤實司教

クリスマスと新年のお慶び申し上げます。

毎年お祝いするクリスマスですが、時代の流れと世相の変化によって、その受け止め方が違ってくるような感じがいたします。皆様には恩恵に満たされたすばらしいクリスマスであったことと拝察いたします。

評議会の中で、年間テーマについては比較的容易に決定され、今後も五年間はこのテーマで教区における福音宣教と司牧に取り組んでゆくことが確認された。

副題の前半、「殉教者を想い」は、日本カトリック司教協議会の殉教者列福調査特別委員会編の小冊子『殉教者を想い、ともに祈る週間』

副題の後半、「殉教者を想い、ともに祈る週間」は、日本カトリック司教協議会の殉教者列福調査特別委員会編の小冊子『殉教者を想い、ともに祈る週間』

### 殉教者を想い、ともに祈る週間

— ペトロ岐部と187殉教者の列福に向けて —



日本のカトリック司教協議会  
殉教者列福調査特別委員会 編

る週間—ペトロ岐部と一八七殉教者の列福に向けて』を参考として決定された。まず、殉教者たちは単に抽象的な「信仰」を持っていたからではなく、政治的世界とも関係する具体的信仰を生きていたがゆえに、時の為政者に命をねらわれ、信仰に命を捧げたということを確認した。そして、またこの精神は『正義と平和』全国集会』の精神と重なるものであることを確認し、年間テーマの副題にふさわしいものとされた。

後半の「自分の信仰を生きる」については、単なる呼びかけ（スローガン）とならないようにということとかなり議論され、一人ひとりの信仰を生きるという決意を表すものとした。（殉教者の列福については第四面に関連記事掲載）

キリストはすべての人の救いのため、その道を示すために人間性をお取りになって、この世に降誕されました。私たちはそのことをわきまえて、これからの生活の中で一人でも多くの人にそのお恵みを分かち合っていくことができるよう努力したいと思えます。

新年、二〇〇七年を迎えました。多くの人が新たな希望と志をもって、今年こそはその実現に努めたいとの決意をもっておられることでしょう。特に現代社会・国政情勢の中にあつては「平和の実現」が、大きな課題ではないでしょうか。

(二面へ続く)



倉吉教会

# 終身助祭制度

## について考える

日本では既に、那覇、鹿児島、浦和、東京教区などで数名の終身助祭が働いています。

広島教区では昨年十月の蒜山司祭研修会において、

### 『正義と平和』全国集会

- ◎2007年9月22日(出)～24日(月)
- ◎『世界平和記念聖堂』周辺  
(広島市職町教会・エリザベト音楽大学)
- ◎テーマ「平和の使徒となろう」
- ◎サブテーマや分科会は未定  
(2月中旬に決定)
- ◎案内は5月に発送予定

鹿児島教区で終身助祭として働いている桃菌淳一郎助祭(八十一歳)を招いて、この制度の導入の可能性を探りました。この制度の導入にはまだまだ多方面での研究、検討が必要ですが、終身助祭とはどのようなものか、簡単に見ておきたいと思えます。

### 「初代教会では」

新約聖書の使徒言行録六

(一面司教あいさつ 続き)  
ところで、新年には大きな喜びの日が予定されています。

### 「列福式に向けて」

まず、ペトロ岐部と一八七名の日本の殉職者が日本で列福されます。広島教区からも五名の殉教者が列福されます。私たちは、キリストにおける真の平和を求めて命を捧げた殉職者たちの精神を受け継ぐために、その列福を盛大にお祝いできるように準備を進めて参りたいと思えます。

### 「『正義と平和』全国集会に向けて」

章などには使徒たちを助けるために助祭が任命されています。

十世紀以降になると、宣教師が司祭中心となり、助祭は司祭になる一つ手前の位階として「過渡的助祭」だけが残りしました。

### 「第二バチカン公会議」

第二バチカン公会議は、「教会憲章」第二十九番で、教会が二十世紀の世界の中でその使命を果たすために再び終身助祭制度を想起させました。そして、その導入については各地域の教会にゆだねています。

### 「終身助祭の資格」

助祭に叙階された者は聖職者になります。

それは、何よりも神様からの召命です。ですから、本人の望み、あるいは教会の必要性だけで求められるものではありません。

独身者だけでなく、既婚者で結婚生活を続けている人も、男性であれば、終身助祭になることができます。

### 「終身助祭の主要な任務」

終身助祭の司牧上の主要な仕事は、聖体の保管と授

また、今年は、特に昨年発表いたしました福音宣教にあたっての教区の基本方針の実現に最善を尽くしたいと思えます。それは「平和」「きょうどう」「養成」の三点です。皆で祈りながら、特に平和の実現に向かってまい進してまいりましょう。

そのために、九月には「正義と平和」全国集会を広島で開催することにしております。「平和の使徒」として召命を受けている広島教区民が丸となって、この集会が実り多いものとなるように取り組んでまいりたいと思えます。

皆様の上に神の祝福をお祈りいたします。



クリスマスのミサ案内状とクッキーを近所の50軒に配りました。(玉野教会)

与、ミサ中の福音書の朗読と説教、教理の授与、信心や祈りの司会、結婚式、葬儀と埋葬の司式などです。

### 「生活費・活動費」

終身助祭の生活費や活動費は教会が保証しなければなりません。他の職業を持つこともできません。また、状況によっては定年後の年金などで生活してもらうなどの場合もあります。

### 「その他」

その他、養成のことや、司祭職や信徒使徒職との関係など、実際に終身助祭制度の導入にはさまざまな問題があります。広島教区では今後この制度の導入に向けて前向きに検討して行くとしていきます。

(澤野耕司神父)

ツツ名誉大主教とベティ・ウイリアムズ氏を迎えて

# 平和の祈り

剣を取る者は皆、剣で滅びる

マタイによる福音書第二十六章五十二節



昨年十一月一日、二日、広島市中区アステールプラザにおいて、ノーベル平和賞を受賞した三人、非暴力のチベット独立運動に取り組むチベット仏教の最高指導者ダライ・ラマ十四世、南アフリカ共和国で人種隔離政策撤廃運動を指導したデズモンド・ツツ名誉大主教、英国・北アイルランド出身の平和運動家ベティ・ウイリアムズさんを招いて「広島国際平和会議2006」が開催され、最後に「赦

しと平和を求める広島の人を高めるとする共同宣言を採択し閉幕した。

一日夜、日本聖公会、カトリック広島司教区、広島市キリスト教会連盟が共同で企画した、「平和の祈り」の集いが、世界平和記念聖堂において行われ、「広島国際平和会議2006」に招かれたツツ名誉大主教とベティ・ウイリアムズさんとともに祈りをささげた。国家、人種、宗教をこえて、約六百人が集まった。

集いの中では、それぞれによる平和メッセージや広島市キリスト教会連盟・月下美孝牧師、日本聖公会神戸教区・中村豊主教、カトリック広島司教区・三末篤實司教による祈りがあり、チベット仏教僧による読経、ノートルダム清心高校合唱部による合唱、コール

スガンデイによる仏教賛歌などがささげられた。

ツツ大主教は「核兵器や戦争、差別をなくすために戦う人、平和や寛容な世界に賛同する人のために祈りましょう」と力強く訴えた。

三末司教は、「二十五年前、平和の巡礼者としてこの聖堂に來られた故ローマ法王ヨハネパウロ二世は、『戦争は人間のしわざです。戦争は人間の生命の破壊です。戦争は死です』と宣言されました。生きとし生けるものすべての生命をおびやかす戦争・暴力の連鎖を断ち、復讐と報復の論理を用いず、和解とゆるしの心をもって、わたしたちひとりひとりが『平和の使徒』として生きることができま



ツツ大主教 - 平和メッセージ



幟町教会

## 「九条ピース・フェスタ in ヒロシマ」レポート

日本国憲法公布から六十年を迎えた十一月三日、全国各地で憲法関連のイベントが行われ、広島では三末司教が呼びかけ人の一人である「九条ピース・フェスタ in ヒロシマ」に約七千人が集まりました。

イベントでは地元ミュージシャンを中心にしたライブ、子どもたちによる歌、パフォーマンスに続き、講演が行われ、翻訳家の池田香代子氏は、パワーエリートが国の富の半分を稼ぎ出している現実から、教育基本法改正が更なる格差を生み、固定化される怖さを述

## NGOアフリカ友の会 「中央アフリカ共和国の子どもたちに愛の手を」 徳永瑞子講演&チャリティコンサート

十月二十九日(日)、幟町教会でNGOアフリカ友の会主催の講演会&チャリティ・コンサートが開催された。講演をされたのはアフリカ友の会代表徳永瑞子さん。チャリティー・コンサートの出演は、ソプラノ：南雲英代さん、オルガン：吉岡真理子さん。

べられました。また、九条の会呼びかけ人で作家の小田実氏は、「改憲論者が現憲法を『現実にはすぐわな』と主張しているが、資源がなく、食料自給率の低い日本は戦争できないという現実を見よう」とし、改訂論者こそ『現実にはすぐわな』。憲法の理想を求めていくことが『現実的』であり、だからこそ『憲法九条』今こそ旬」だと述べられました。その後、イラクレポート、ゲスト歌手による歌、高校生の平和宣言と続き、参加者全員での「イマジン」大合唱で幕を閉じました。

# 列福式は長崎で

## 日程はまだ未定

「殉教者の血は教会の種子となる」

〔マルチリオの勧め〕  
キリシタン時代の信仰書

# ペトロ岐部と187殉教者

のために生命をささげる殉教者が輩出しました。

世界の多くの教会と同じ

一五四九年、聖フランシスコ・ザビエルによって始められた日本の福音宣教は、一五九七年の「日本二十六聖人」の殉教以後、過酷な歴史を刻むことになりました。為政者にとりて教会とキリスト教徒に對する弾圧、迫害、そして殉教。



広島已斐 殉教者記念碑

ように日本の教会の基礎は殉教者の流した尊い血によって築かれました。

日本には、「二十六聖人」「トマス西と同志殉教者」十六人、「二〇五福者」、合わせて二四七人の教会に公認された殉教者が存在します。

### 福者たちの特徴

この度、二十五年に及ぶ運動が実を結び、「ペトロ岐部と一八七殉教者」が新たに福者の位あげられることになりました。

この一八八人の殉教者に

### 広島教区の5人の新しい福者

メルキオル熊谷豊前守元直	1605年8月16日	萩
ダミアン伝道士	1605年8月19日	山口
フランシスコ遠山甚太郎	1624年2月16日	広島
マティアス庄原市左衛門	1624年2月17日	広島
ヨアキム九郎右衛門	1624年3月8日	広島



萩 殉教者記念碑

はいくつかの特徴があります。

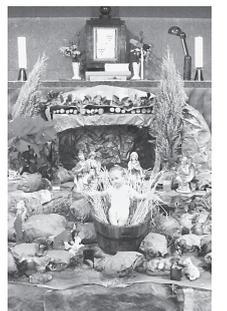
一、殉教の地が東北、関東、関西、中国、九州に及んでいること。

二、信徒、修道者、司祭、町民、農民、武士など、さまざまな階層、身分、職業の人々であること。

三、幼児から老人にいたるまでの男女、健常者、障が

い者が含まれていること。広島教区からも五人が選ばれています。

殉教はイエス・キリストを救い主と信じる信仰を徹底して生き抜いた結果です。この世の生命よりも信仰を優先する生き方です。しかし同時に、殉教者の力は、まず第一に、神からの恵みであることを忘れてはなりません。



祭壇前の馬小屋(呉教会)

わたしたちの教区に五人の新しい福者が誕生する機会に、現代の日本の社会の中で、信仰をもって生きていくこと、福音的価値に徹することを学び、深めていきたいと思います。

## 沖縄平和巡礼と鶴島聖地巡礼

後藤 正史神父

このひと月の間に二つの巡礼に出かけました。

沖縄と鶴島です。どちらの島も、人間の暴虐な力が東になって、神からのたまものであるいのちに襲いかかり、また奪い去った場所です。

訪ねるわたしたちに「死」が突きつけられます。沖縄そして鶴島の地に立つと、不遇の死に追い込まれた人々が、信仰者が静かにわたしたちに「しっかり人間として、

信仰者として生きてください」と叫びうったえている声が聞こえてきます。そして、彼らの声はとりもたず、広島教区民の召命・共通目標である「平和の使徒になろう」につながっていきます。

わたしたちはもつとこの世を去った方々の無念の思い、平和の思い、篤い信仰を受け止め、「聖徒の交わり」という「きょうどう」を信仰の支えとしていきませんか。

# 壁を取り払おう

今私は、ブラジル人担当ということ、月一回、職、福山、津山、倉敷、海田、東広島、呉、そして向原などの教会で、ポルトガル語あるいはポルトガル語を交えたミサをしています。

皆さんもご存知のように、私たちの社会には多くの外国籍の人々が働いています。教会もその流れの中で、多くの外国籍の人々が来ています。ある教区、小教区では、日本人の信者より外国籍の信者のほうが多いところもあります。私たちキリスト者は主を信じる同じ兄弟として一つの家族を作っていかなければなりません、ややもすると、

ここは日本、日本人の国だ、日本の法律や習慣が気にいらないければ、自分の国に帰ればいいという考えを持つてしまうようです。

私たちの主イエスは、かつて、父の御旨を行うものが私の兄弟姉妹、母であると言われ血縁の壁、ひいては民族、国家の壁を取り払われましました。私たちも外国籍のかたがたと共に、主の米国の到来のために力を尽

くしたいものです。

難民移住移動者委員会が、外国人が住みやすい国は、日本人にも住みやすい、を合言葉に、外国人基本法制定をもとめて署名活動をしています。

写真は、津山教会でのポルトガル語ミサの後です。ここでは、仕事を終えた後集まってくるので、夜八時のミサになっています。

(野中 泉神父)



## 「ポルトガル語ポルトガル語を交えたミサ」

第一日曜日	職町	午前十一時
第二土曜日	福山	午後三時
第二日曜日	津山	午後八時
第三土曜日	倉敷	午後三時
第三日曜日	海田	午後七時
	東広島	午前九時
	呉	午後二時
第四日曜日	向原	午前十時

## アルペ神父の列福祈願ミサ



元イエズス会総長アルペ

神父の日本と世界での貢献に感謝し、威徳を偲ぶために、多数ご参加ください。

日時 二〇〇七年二月三日

十三時から十六時

場所 西日本霊性センター

(元長束修練院)



山口教会

## 海味からの風5

下関労働教育センターだより

●奏でられるギターと抱擁されるような声にみんなが聞き入った素敵な夜だった。センターの、年に一度のお祭り「出合いの祝祭」を十一月に開催した。日頃センターを利用して市民や、お友達を招いて人と人とが出会うことを「祝う」日だ。大阪と愛知から趣旨に賛同してくれたミーシヤンも駆けつけてくれて、大にぎわいで夜が更けていた。●この準備をしていた十月に事件が起こった。下関の朝鮮学校で音楽室の楽器が校庭にばらまかれ、全国の朝鮮学校で脅迫や無言電話が相次いだ。少し前に北朝鮮の核実験が実施された。●アメリカ、旧ソ連、フランス、インド、パキスタンが核実験を行った時、日本に住むこれらの国の子ども達は脅迫されたか? ●朝鮮学校への嫌がらせは、今も温存されている朝鮮人差別が核実験という「引き金」で噴出したのである。ま

もな抗議ではないから顔も出さず、名前も名乗らない。ここで「チマチヨゴリの子どもたちを見守ろう!」と全国に呼びかけたアピールを出した。僕たちの知らない所でチェーンのように繋がっていく支援が、センターのファックスを鳴らし続けた。全国八十七の団体・個人の賛同が寄せられ、記者会見で発表した。●「祝祭」ではルイ・アームストロングの「素晴らしきこの世界」が歌われた。悲しいことも起こるけど、賛同してくれた見知らぬ友を想い聞き入った。●木々は緑に輝き、赤いバラは美しくどれも私たちの為に咲いている、そしてふと思う、なんて素晴らしい世界/友だちが手をとりあい、「愛してる」と挨拶をかわしている/赤ん坊は泣きやがて育っていく、きつとたくさん事を学びながら/そしてふと思う、なんて素晴らしい世界/なんて素晴らしい世界/O H, YES... ●新年おめでとう! (細江教会・廣崎隆一)

広島教区

ソフトボール大会

福山で十一月三日に広島教区のソフトボール大会が行われた。参加は、呉・熾町・廿日市・福山・三篠の五つの教会。参加人数は、四十人ほど。子どもから大人まで一緒になって汗を流した。



お知らせ

広島教区青年大会

2007

広島で教区青年大会を開催します。テーマは「未来の教会」。日ごろ、色々なところで教会に関わっている青年の方々、各教会や地区

の枠をこえてみんなで集まってみませんか？

日時：四月二十九～三十日  
場所：エリザベト音楽大学  
西条校舎（予定）

詳しくは各教会配布のポスター・チラシ参照。

お問い合わせは、青少年情報センター〇八二―二二一―〇〇六四まで。

中国ブロック  
カトリック高校生大会

毎年恒例の中プロが、岡山で開催されます。テーマは「人から人への感情」。

日時：三月二十四～二十七日

場所：岡山、ノートルダム

清心女子大一宮校舎

対象：中学三年生～高校生三年生

お問い合わせは、青少年情報センターまで。

お問い合わせは、青少年情報センターまで。

『私の背景の一部』

淳心会神学生  
倉敷教会



ブイంగా・ブレイズ

私は一九七四年十月六日にコンゴ民主共和国のバタ―ベンゲで生まれました。両親は六人の子供に恵まれましたが、男子一人と女子一人が幼いころに麻疹にかかって亡くなったので、姉二人と妹に囲まれた一人息子として育ちました。コンゴでは昔から宣教師

たちが教育や健康に関する活動や福祉事業などに力を入れています。というのは、政府が数年間国民の最低限の権利を守るための努力をしなかつたからです。

淳心会のあるベルギー人神父は、私の田舎にキャンプを張り、あちこちに道を作ったり補修したり橋を架けたりして

いました。彼はヨーロッパからの援助を使い、人々が神様の救いを少しでも感じられるように質素な生活をしながら

ら立派な仕事をしました。それがきっかけで、私もいつか世界のどこかで働こうという夢を持つようになりました。

十二歳で小神学校に入り、文化や方言の違う子供たちと教区司祭たちの下で共同生活を送りました。懐かしく楽しい思い出が数え切れないほど記憶に浮かび上がります。

高校を卒業後一年間教師として働き、淳心会の修練所に入り、一九九六年十月七日に初誓願を立てました。その後イエズス会の大学で哲学を、カメルーンで神学を勉強しました。ある日宣教師として任命されたい国を選ぶように言われ、運よく私の第一希望である日本に行くことになりました。



今年の教皇の「世界平和の日」のメッセージのテーマは『平和の中心である人間の人格』。人は社会や国家のためにある以前に、神からの「人格」の尊厳を持つ。政治家はしばしばその逆を好む。日本は今、国のための「人材」教育を目指し、人格を破壊する競争への道を進もうとしている。殉教者はそれに抗って生き、命を捧げ、信仰を守った。

淳心会のあるベルギー人神父は、私の田舎にキャンプを張り、あちこちに道を作ったり補修したり橋を架けたりしていました。彼はヨーロッパからの援助を使い、人々が神様の救いを少しでも感じられるように質素な生活をしながらら立派な仕事をしました。それがきっかけで、私もいつか世界のどこかで働こうという夢を持つようになりました。十二歳で小神学校に入り、文化や方言の違う子供たちと教区司祭たちの下で共同生活を送りました。懐かしく楽しい思い出が数え切れないほど記憶に浮かび上がります。高校を卒業後一年間教師として働き、淳心会の修練所に入り、一九九六年十月七日に初誓願を立てました。その後イエズス会の大学で哲学を、カメルーンで神学を勉強しました。ある日宣教師として任命されたい国を選ぶように言われ、運よく私の第一希望である日本に行くことになりました。

